

第50回東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリーを開催しました

令和8年8月5日から6日にかけて、奈良県の「国立曽爾（そに）青少年自然の家」にて「第50回東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリー」が開かれました。

東海三県から36名が集まり、愛知県からは「宮の森みどりの少年団」が参加しました。

記念すべき50回目となった今回は、コロナ禍を経て6年ぶりとなる宿泊での開催となりました。



1日目 「森林に対する学びのプログラム」と「キャンプファイヤー」

1日目は、開会式に続いて緊張をほぐすアイスブレイクを交えたオリエンテーション、4つのグループに分かれて「森林に対する学びのプログラム」を行いました。プログラムでは、①カードゲームを通して森林の現状や未来を楽しく学ぶ、②環境再生に向けた整備を体験する、③「健康で元気な森林にするには」をテーマに間伐や植樹について学ぶ、④森の散策とこけ玉づくりで小さな森づくりを体験する、といった趣向を凝らした体験に挑戦しました。内容はグループごとに異なりますが、どのグループも森林の大切さや今後の課題について深く学ぶ機会となりました。

1日目の締めくくりには「キャンプファイヤー」を行いました。夜のプログラムも6年ぶりとなり、子どもたちにとって幻想的で思い出深いひとときとなりました。



2日目 「木のスプーンづくり」と「閉会式」

2日目のクラフト体験では「木のスプーンづくり」に挑戦しました。

薪（まき）を割るところから始まり、ノコギリを使って柄の形を整え、ヤスリで丁寧に磨いて仕上げます。完成した世界にひとつだけのオリジナルスプーンをお互いに見せ合いながら、弾むような楽しい時間を過ごしました。

閉会式では、次期開催県である岐阜県の「海津市みどりの少年団」が代表して「お別れの言葉」を述べました。2日間という短い期間ではありましたが、県を越えた団員同士の交流を通して絆を深め、素晴らしい夏の思い出を作ることができました。



開催概要

年 月 日	令和8年8月5日から8月6日		場 所	国立曽爾(そに)青少年自然の家（奈良県）		
参加状況	愛知県	宮の森みどりの少年団	1 団	三重県	菰野町朝上みどりの少年隊 菰野町竹永みどりの少年隊 菰野町千種みどりの少年隊 亀山加太みどりの少年隊	4 隊
	岐阜県	海津市みどりの少年団	1 団			